

Lecture 15

Date & Place: 2009 February 23rd、ガゼル町・メツァ村

Title of lecture: 「エチオピアにおける在来知の実践について」

Lecturers: 重田眞義・金子守恵（京都大学）

Summary:

エチオピアにおける在来知の実践、というテーマで、主に土器づくりの職人たちがおこなう土器の野焼きの様子を見学し、職人に対して質問をさせてもらう機会をえた。訪問した家では、その日の市に出荷するための野焼きをはじめるところで、訪問した世帯の夫人の土器のほか、息子の嫁の土器や娘たちの土器も一緒に焼成している様子を見せてもらったことができた。（写真1 1）その後、教員の調査村を訪問し、エンセーテをはじめとした農業に従事している世帯を訪問した。世帯の構成や生活の様子について説明をうけた（写真1 2）。また、公立学校を訪問しそこでおこなわれている特別学級の授業（聴覚障害者への授業）を見学させてもらう。（写真1 3）野生のエンセーテが自生している神聖な森を訪問することもできた。（写真1 4）



写真 1 1



写真 1 2



写真 1 3



写真 1 4